【別添】

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート

[団体名：　一般社団法人日本サイクリングガイド協会　]

[記載日：　令和 8 年 10 月 20 日　]

【対応状況に係る自己評価】

A：対応している
B：一部対応している
C：対応できていない

項目	対応状況
原則１　法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	
(1) 法人格を有する団体は，団体に適用される法令を遵守しているか。	A
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） 一般社団法人に適用される法令を遵守している。	
(2) 法人格を有しない団体は，団体としての実体を備え，団体の規約等を遵守しているか。	
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）	
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。	A
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） 事業運営に関連する法令を遵守している。	
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。	A
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） 当協会ウェブサイトに公開。	
原則２　組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。	

(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。	A
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） 当協会ウェブサイトに公開。	
原則３ 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。	
(1) 役職員に対し，コンプライアンス教育を実施しているか，又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	A
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） 人材教育サービス会社の提供するｅラーニングでの研修受講を促している。	
(2) 指導者，競技者等に対し，コンプライアンス教育を実施しているか，又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	B
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） 当協会の所属会員は全員必ず一度は対面での講習会を受講し、一部内容は該当しているが、コンプライアンスに特化したものではないため、今後講習内容に追加することを検討する。	
原則４ 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。	
(1) 財務・経理の処理を適切に行い,公正な会計原則を遵守しているか。	A
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） 当協会の顧問税理士が、当協会監事になっている。	
(2) 国庫補助金等の利用に関し，適正な使用のために求められる法令，ガイドライン等を遵守しているか。	A
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） 当協会の顧問税理士に指導を仰いでいる。	

(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	A
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） 当協会発足当初より、税理士と顧問契約している。	
原則５ 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに，組織運営に係る情報を積極的に開示することにより，組織運営の透明性の確保を図るべきである。	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	A
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） 当協会ウェブサイトに公開。	
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	A
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） 当協会ウェブサイトに公開。	
原則６ 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合，ガバナンスコード＜NF 向け＞の個別の規定についても，その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。	
自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード＜NF 向け＞の規定があるか（ある場合は下欄に記述）	
原則■について	
（現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）	